



2024年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年9月13日

上場会社名 ReYuu Japan株式会社（旧会社名 日本テレホン株式会社）

上場取引所 東

コード番号 9425 URL <https://www.reyuu-japan.com/>

代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）有馬 知英

問合せ先責任者（役職名）経理財務部長（氏名）菊地 洋介

TEL 03-6230-9388

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2024年10月期第3四半期の業績（2023年11月1日～2024年7月31日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期第3四半期	3,731	14.5	△35	—	△46	—	△48	—
2023年10月期第3四半期	3,258	—	△126	—	△139	—	△6	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年10月期第3四半期	△8.46	—
2023年10月期第3四半期	△1.09	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年10月期第3四半期	2,000	914	45.7	166.78
2023年10月期	1,917	1,051	54.8	183.56

（参考）自己資本 2024年10月期第3四半期 914百万円 2023年10月期 1,051百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年10月期	—	0.00	—	—	—
2024年10月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年10月期の業績予想（2023年11月1日～2024年10月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,500	34.5	20	—	12	—	9	—	1.60
	～6,600	～61.4	～80	—	～72	—	～69	—	～12.28

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年10月期3Q	5,741,500株	2023年10月期	5,741,500株
② 期末自己株式数	2024年10月期3Q	258,305株	2023年10月期	12,105株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年10月期3Q	5,676,079株	2023年10月期3Q	5,729,395株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
3. 補足情報	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善傾向にある中で、緩やかな回復基調で推移しております。一方で、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクや物価の上昇、不安定な世界情勢の長期化等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社の主な事業分野である携帯電話業界におきましては、円安や製造コストの上昇に伴い、新品端末の価格が高騰しております。さらに物価上昇による家計への負担増も重なり、新品端末の出荷台数は減少傾向にあります。その一方で、高価な最新機能よりも実用性とコストパフォーマンスを求める需要から、リーズナブルに入手可能なリユースモバイル端末への関心はますます高まっております。リユースモバイル端末は、普及が進む低価格帯の回線サービスとも相性がよく、サブ端末としての利用や法人による利用が増加しており、市場は順調に成長を続けております。今後につきましても、リユースモバイル端末の品質や安全性が認知されていくとともに、市場規模の拡大が加速していくことが見込まれます。

このような事業環境の中、当社は社名の一部でもある「ReYuu(注)」に表現されるコーポレート・アイデンティティに基づき、モバイル端末を中心とするリユース関連事業を事業の柱として、企業価値の向上を目指しております。

当第3四半期累計期間におきましては、調達力の強化と各販売チャネルにおける販売力の強化へと注力し、新規顧客の獲得や既存取引先との関係強化、オンラインチャネルでの販売促進に取り組みました。その結果、販売台数、売上高、売上総利益のいずれにつきましても、2023年4月の移動体通信関連事業撤退による減少分を上回る伸長を実現し、前年比で大幅な増加となりました。更に販売費及び一般管理費につきましては、移動体通信関連事業からの撤退やコスト削減努力の結果として大幅に削減され、黒字転換に向けた利益体質の改善が進んでおります。

これらの結果、当第3四半期累計期間における売上高は3,731百万円(前年同四半期比14.5%増)、営業損失は35百万円(前年同四半期営業損失126百万円)、経常損失は46百万円(前年同四半期経常損失139百万円)、四半期純損失は48百万円(前年同四半期四半期純損失6百万円)となりました。なお、前年同四半期累計期間における業績には、2023年4月をもって撤退した移動体通信関連事業における売上高329百万円、事業譲渡および閉店に伴う特別利益135百万円等が含まれております。

(注)「ReYuu(リユー)」は、「①『リユー』スの輪を広げる、②選ばれる『理由』がある、③『Re(何度も)』+『Yuu(結う=繋げる)』」という想いを込めた、当社の目指す姿を示すコーポレート・アイデンティティです。

事業部門別の状況は次のとおりであります。

当社の事業は、情報通信関連事業の単一セグメントであります。業績の状況を事業部門別に記載してまいります。

(リユース関連事業)

当第3四半期累計期間におけるリユース関連事業におきましては、調達力の強化を重点戦略として掲げ、今期より新設した調達専門部署を中心に調達営業活動を推進し、調達量増加が業績改善に寄与いたしました。事業の基盤となる良質な商品の安定確保と、大口調達案件の成約を両軸の目的として、調達先との関係強化および課題解決型の買取提案営業に取り組んでおります。また、主要商材のスマートフォン以外に、パソコン等の商材も積極的に買取を進め、取引機会の最大化を図っております。

国内法人向け営業戦略につきましては、販売・買取・レンタル・商品保証・キittingを一体化した総合的な端末サービスを強みとして、既存取引先への深耕営業および新規顧客の開拓に取り組んでおります。その中でも当社が優位性を持つMVNO事業者チャネルにおいては、既存取引先への深耕営業により販売機種の幅が拡大いたしました。また、BtoBtoC領域での取引を基盤としながら、BtoBtoB領域での取引拡大に焦点を当てることで更なる事業成長を目指しております。その他の国内取引先である通信事業者、携帯販売代理店、卸業者、小売業者、一般企業といったチャネルにつきましても、堅実に取引が拡大いたしました。

グローバルチャネルにおいては、販売と調達の両面で安定した取引ルートの整備が進行しております。また、これを支えるため、海外ビジネスに精通した人材の積極的な活用にも力を入れております。

個人向けオンラインチャネルにおいては、販売促進施策の実施とお客様目線での顧客対応により、外部ECモールでの店舗評価が高まっております。また、メイン商材のスマートフォンやノートパソコンにとどまらず、デスクトップコンピュータのメーカー認定整備済製品の販売を開始する等、当社の調達ルートを活かした商品ラインナップの充実に取り組んでおります。

これらの結果、売上高3,692百万円（前年同四半期2,914百万円）、販売台数は108,260台（前年同四半期66,334台）となりました。

（その他の事業）

当第3四半期累計期間におけるその他の事業におきましては、売上高38百万円（前年同四半期14百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 総資産

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比べて82百万円増加し、2,000百万円となりました。これは主に、現金及び預金が449百万円減少したものの、商品が221百万円、売掛金が167百万円、レンタル資産が51百万円、未収消費税等が40百万円、預け金が30百万円増加したことによるものであります。

② 負債

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末と比べて220百万円増加し、1,085百万円となりました。これは主に、短期借入金が200百万円減少したものの、長期借入金が373百万円、買掛金が63百万円増加したことによるものであります。

③ 純資産

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末と比べて137百万円減少し、914百万円となりました。これは、自己株式の取得89百万円、四半期純損失48百万円の計上によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月14日付「2023年10月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」にて公表しました通期の業績予想に変更はございません。

（4）継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、新型コロナウイルス感染症の影響による調達難等により2022年4月期に営業損失を計上し、その後も継続して営業損失を計上していることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

しかしながら、これまでの販売促進や調達強化の取り組みを通じて、当社のリユース関連事業は着実に拡大しており、当第3四半期累計期間においては売上高3,692百万円（前年同四半期2,914百万円）となりました。加えて、2024年10月期は、2022年12月27日公表の中期経営計画に示す成長曲線への回帰を目指した営業戦略を推し進め、通期業績予想についても営業利益の黒字化を見込んでおります。

以上のことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年10月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,090,394	640,814
売掛金	253,566	421,283
商品	527,920	749,831
貯蔵品	4,267	8,253
前払費用	9,087	12,520
未収入金	1,035	1,039
未収消費税等	—	40,542
預け金	—	30,768
その他	5,626	20,087
流動資産合計	1,891,898	1,925,143
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,776	5,776
減価償却累計額	△5,776	△5,776
建物(純額)	—	—
構築物	—	276
減価償却累計額	—	△13
構築物(純額)	—	262
工具、器具及び備品	42,668	42,216
減価償却累計額	△42,668	△40,457
工具、器具及び備品(純額)	—	1,758
リース資産	294	294
減価償却累計額	△294	△294
リース資産(純額)	—	—
レンタル資産	8,710	59,768
減価償却累計額	△4,243	△10,264
レンタル資産(純額)	4,467	49,503
有形固定資産合計	4,467	51,524
無形固定資産		
商標権	—	2,761
無形固定資産合計	—	2,761
投資その他の資産		
破産更生債権等	1,001	1,001
長期前払費用	198	31
差入保証金	21,054	21,065
貸倒引当金	△1,001	△1,001
投資その他の資産合計	21,253	21,096
固定資産合計	25,720	75,382
資産合計	1,917,619	2,000,526

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年10月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	21,690	84,707
短期借入金	600,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	39,996	39,996
未払金	33,408	24,394
未払費用	13,704	12,840
未払法人税等	3,245	1,830
未払消費税等	13,928	—
預り金	8,846	6,716
賞与引当金	4,350	1,825
その他	6,775	18,087
流動負債合計	745,945	590,397
固定負債		
長期借入金	73,346	446,672
長期末払金	—	18,281
役員退職慰労引当金	17,184	—
退職給付引当金	25,619	26,823
資産除去債務	3,562	3,565
固定負債合計	119,711	495,341
負債合計	865,657	1,085,739
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金		
資本準備金	724,520	724,520
その他資本剰余金	358,158	358,158
資本剰余金合計	1,082,679	1,082,679
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△81,005	△129,028
利益剰余金合計	△81,005	△129,028
自己株式	△9	△89,161
株主資本合計	1,051,663	914,488
新株予約権	298	298
純資産合計	1,051,961	914,786
負債純資産合計	1,917,619	2,000,526

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)
売上高	3,258,796	3,731,478
売上原価	2,892,251	3,347,972
売上総利益	366,545	383,505
販売費及び一般管理費	493,141	419,434
営業損失(△)	△126,596	△35,928
営業外収益		
受取利息	3	4
その他	481	1,497
営業外収益合計	484	1,501
営業外費用		
支払利息	4,984	5,606
為替差損	1,458	868
物品売却損	—	968
棚卸資産除却損	4,477	4,617
新株予約権発行費	2,754	—
支払手数料	—	504
その他	168	—
営業外費用合計	13,843	12,566
経常損失(△)	△139,955	△46,993
特別利益		
受取賠償金	900	800
事業譲渡益	135,431	—
特別利益合計	136,331	800
税引前四半期純損失(△)	△3,623	△46,193
法人税、住民税及び事業税	2,635	1,830
法人税等合計	2,635	1,830
四半期純損失(△)	△6,259	△48,023

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年4月15日および2024年6月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式246,200株の取得を行いました。この結果、当第3四半期累計期間において自己株式が89,151千円増加し、当第3四半期会計期間末において自己株式が89,161千円となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、情報通信関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)
減価償却費	1,291千円	782千円

3. 補足情報

事業部門別売上高の状況

区分	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		前年 同四半期比
	売上高	構成比	売上高	構成比	
(1) リユース関連事業	千円	%	千円	%	%
小計	2,914,683	89.4	3,692,635	99.0	126.7
(2) 移動体通信関連事業	千円	%	千円	%	%
① 通信機器販売	261,118	8.0	—	—	—
② 受取手数料収入	68,582	2.1	—	—	—
小計	329,700	10.1	—	—	—
(3) その他の事業	千円	%	千円	%	%
小計	14,411	0.5	38,842	1.0	269.5
売上高合計	3,258,796	100.0	3,731,478	100.0	114.5

(注) 移動体通信関連事業は、2023年4月1日付で事業譲渡および閉店が完了しております。